

令和5年度

災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資機材
仕 様 書

湖北地域消防組合

第1章 総則

1. 目的

この仕様書は、湖北地域消防本部（以下「当本部」という。）が令和5年度に配置する災害対応特殊救急自動車（以下「救急車」という。）及び高度救命処置用資機材の仕様を定めることを目的とする。

2. 法令等の遵守

救急車の製作にあたり、道路運送車両法（昭和26年法律第185号。）に定める保安基準に適合し、かつ、救急業務実施基準（昭和39年自消甲教発第6号通知。以下「実施基準」という。）及び緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱を遵守しなければならない。

3. 打合せ等

受注者は、契約後2週間以内に当本部職員と車両全般に関することについて打ち合わせを行い、その後2週間以内に打合せ事項についての議事録を1部提出するものとする。

4. 製作上の問題処理

製作にあたっては次に掲げる事項を遵守すること。

- (1) 仕様内容等に疑義が生じた場合は、速やかに当本部と協議し決定すること。
- (2) 仕様内容の解釈について相違がある場合は当本部の解釈に従うこと。
- (3) 仕様の変更が必要な場合は、当本部の承認を得ること。
- (4) 救急車製作にあたり、工業所有権法その他の法令等に抵触する問題が生じた場合は、受注者においてこれらの問題を解決し一切の責任を負うこと。
- (5) 車両及び艤装、資機材等において、同等以上の性能を有する品と主張する場合は、性能資料を提出し当本部の承認を得ること。

5. 提出書類

(1) 契約金額明細書

受注者は契約後、速やかに当本部が指定する項目に分けた契約金額明細書を1部提出すること。

(2) 承認図書

車両製作に先立ち受注者は、当本部職員と製作上の細部にわたる打ち合わせを十分行った上で、速やかに下記の書類を各4部製本提出し、車両製作の承認を受けること。

- ① 製作工程表
- ② 車両5面図
- ③ 電気配線図
- ④ 艤装及び高度救命処置用資機材等積載図

(3) 完成図書

受注者は、車両納入時に下記の書類を各4部製本し提出すること。

- ① 完成図（5面図）
- ② 写真（前後左右上部）
- ③ 自動車検査証の写し
- ④ 救急車及び付属品取扱説明書（1部のみ提出）
- ⑤ 納品書（内訳書含む）
- ⑥ 車両、各装備品のトラブル発生時の連絡先（住所・会社名・電話番号）
- ⑦ 装備品、付属品一覧表

6. 検査及び検収

受注者は、当本部が実施する中間検査及び検収を次により行うものとする。

(1) 中間検査

- ① 製造及び艀装等の工事施工途中で、作業工程並びに進捗状況等について、各部の確認、是正に係る指示、協議のため当本部職員が出向し検査する。
- ② 検査方法は、事前に提出済の製作工程表に基づき、承認済の設計図書、本仕様書、事前協議事項について検査する。

(2) 検収

- ① 道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準等関係法令に係る検査に合格適合し、緊急自動車としての承認が得られ、救急車として完成した後、当本部職員が検収する。
- ② 検収方法は、全ての救急用備品及び車両付属品の取付状況、積載状況と機能の良否、数量等について承認済の設計図書、本仕様書、中間検査における是正に係る指示、協議事項等に基づき検収する。

7. 保証等

- (1) 完成車両、付属品及び資機材等の保証期間は、納入後1年とし、保証書を添付すること。ただし、各製造元が公表する保証期間がそれ以上の場合は、その期間までとする。
- (2) 保証期間を問わず、設計不良等の原因により不都合な箇所が発生したときは、理由書を添え報告し、早急に受注者の責任において同様の措置を行うこと。
- (3) 登録日から1年間の法定点検（6ヶ月、12ヶ月点検時のオイル及びオイルエレメント交換含む。）は無償で行うこと。
- (4) エンジンオイル等の油類について著しい減量が認められる場合は、発注者が車両を使用する間、受注者において修理等の措置を無償で行うこと。
- (5) 車両納入完了までのすべての事故等についての責任は、受注者の負担とする。
- (6) 緊急時の連絡先、担当者名等を明記したアフターサービス体制の概要書類を提出すること。

8. その他

- (1) ベース車製造会社が車両を改良変更した場合は、新車種型式のものを採用すると。

- (2) 車両納車後の車両操作及び救急資機材等の取り扱いについては、受注者の責任において各専門業者が指導を行うこと。

9. 納入期間等

- (1) 納入期限 湖北地域消防組合議会の議決を得た日の翌日から180日以内とする。
納車時、燃料は満量とすること。
諸登録すべてを納期までに完了すること。
- (2) 納入場所 米原消防署 (米原市長岡2811番地1)
- (3) 発注台数 1台 (高度救命資器材含む)
- (4) その他 運用配置場所 米原消防署

第2章 救急車の規格及び仕様

救急車の車両本体及び艀装部位に積載する電子医療機器、並びに他の救急業務の実施に必要な機器（以下「業務機器」という。）は、救急業務実施基準に適合したものとし、かつ、業務機器については、ベース車製造会社及び艀装会社が車両に取付け、又は積載が可能であることとあわせ、安全性や品質の保障ができることを事前に確認したものとす。

1. 車両本体仕様

(1) 主要諸元

① シャーシ関係

ア. 車名	災害対応特殊救急自動車
イ. 型式	4輪駆動車
ウ. ミッション	電子制御式オートマチック
エ. 全長	5, 300mm以上
オ. 全幅	1, 800mm以上
カ. 全高	2, 400mm以上
キ. 患者室内長	3, 110mm以上
ク. 室内幅	1, 660mm以上
ケ. 室内高	1, 850mm以上
コ. 車両総重量	3, 500kg未満
サ. ホイールベース	2, 940mm以上
シ. ブレーキシステム	ABS付
ス. 乗車定員	7人以上

② エンジン関係

ア. エンジン	水冷直列4気筒
イ. 総排気量	2, 400cc以上
ウ. 使用燃料	レギュラーガソリン

③ 電装品関係

バッテリー	バッテリーを電源とする赤色警光灯及びその他の灯火並びに機能を同時に賄える容量を有し、点検整備交換が容易に行なえる場所に設置
-------	---

④ その他

ア. タイヤ	ラジアルタイヤ5本（予備タイヤ含む）
イ. ステアリング	パワーステアリング装置
ウ. サスペンション	型式指定を受けたもの
エ. エアバッグ	運転席・助手席2ヶ所

(2) 車両本体部分は、次に掲げる性能を有すること。

- ① 本体は、シャーシ、ボディー及び付属品から構成され、全有蓋で密閉構造式であること。
- ② 外板は、主として金属製とすること。ただし、改造等により金属が使用できない箇所についてはFRPもしくはABS樹脂製とすることができる。

- ③ 総合的に重量軽減を図り、前後輪荷重及び左右荷重のバランスを考慮すること。
- ④ 構造は堅牢で耐久性が十分にあるようにすること。
- ⑤ 鈹金切断等の切断端には、危害防止のための丸みをつけ、溶接のバリ等がないこと。
- ⑥ 構造全般にわたって防水性を考慮し、シャーシには防錆加工（塩害防止）すること。
- ⑦ 環境保全関係法令及び係る条例等の規定に適合する環境に配慮した車両であること。
- ⑧ 寒冷地仕様とすること。
- ⑨ 全ての座席に、シートベルトが設置されていること。
- ⑩ 施錠方式は運転席での集中ドアロック方式又は各扉外部施錠方式で、患者室スライドドア及び跳ね上げ式のバックドアについては、イージークローザー又はオートクローザー機能を有すること。
- ⑪ ドアロックの遠隔操作装置(標準キー付リモコン装置)が設置されていること。
また、作動については、次に掲げる条件によること。
 - ア. 車両周辺から操作して作動すること。
 - イ. シフトレバーが P レンジの時だけ作動する構造であること。
- ⑫ フロントパネル中央部に消防マーク（直径 150 mm）を設置すること。
- ⑬ フロントアンダーミラー、フロント左ドア部にアウトサイドミラー及び左右フロントドアにサイドバイザーが設置されていること。
- ⑭ リヤバンパー傷つき防止板（ステンレス製）を設置すること。
- ⑮ リヤステップに滑り止め処置を施すこと。
- ⑯ 必要に応じサイレン防雪カバーを設置する等、積雪によりサイレン音が妨げられないこと。
- ⑰ 盗難防止用スイッチ又は誤発進防止装置を運転室内に設けること。
- ⑱ 患者室の窓は、次に掲げる条件によること。
 - ア. 患者室右側面窓ガラス（設置されている車両に限る）
 - ・着色フィルム又はくもり（すり）ガラス加工等により外部から見えない措置を講じること。
 - イ. 患者室左側面及び後部窓ガラス
 - ・スライドドア設置窓ガラスについて、下 2 / 3 程度はくもり（すり）ガラス加工を施し外部から見えない措置を講じ、その他は着色フィルムにより外部から見えにくい措置を講じること。
 - ・横向きシート上固定窓ガラスは、全面をくもり（すり）ガラス加工等により外部から見えない措置を講じること。
 - ・後部窓ガラスについて、下 1 / 2 程度はくもり(すり)ガラス加工等により外部から見えない措置を講じ、その他は着色フィルムにより外部から見えにくい措置を講じること。更に電動式カーテンを設置すること。
- ⑲ 音声合成の右左折及び後退音装置を設置すること。
- ⑳ AC100V 外部入力用マグネット式コンセントから自動的に車両バッテリーに充電する機能を設け、コンセント接続中はエンジンの始動ができない安全装置を備えていること。

- ⑳ 消火器が積載されていること。(車載型粉末消火器 6 型)
- ㉑ 患者室にインバーター (正弦波 3 0 0 W 以上) 及び AC 1 0 0 V コンセント 4 個を設置すること。なお設置場所は別に協議する。
- ㉒ 配線等は天井等に敷設し、車内外に露出させないこと。ただし、納車後の仕様の追加、変更の場合はその限りでない。
- ㉓ 傷病者室の床は、水洗いに十分耐える防水加工が施されていること。
- ㉔ 排気管の構造は、車両停車時において努めて車両後方に排気ガスが滞留しないものとする。
- ㉕ サイレンは、「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」(昭和 4 5 年 6 月 1 0 付、消防第 3 3 7 号通知) の別紙「救急自動車に備える電子サイレンの概要」に適合すること。
- ㉖ その他詳細仕様書に掲げる車両本体に関連するものが付属されていること。

2. 運転室

設置する業務機器については、次に掲げるものであること。

(1) 運転席窓上エリア

- ① フレキシブル型マイクロホン
- ② 天井収納棚もしくは網棚

(2) 運転席前面

- ① ドアロックモニター又は半ドア警告装置
- ② ETC 車載器 2. 0 (セットアップ費用含む。取付位置は別に協議する。)

(3) 助手席窓上エリア

- ① オーバーヘッドコンソール部分に LED 灯
- ② 天井収納棚もしくは網棚

(4) 中央前面

- ① GPS ナビゲーションシステム (VICSWIDE 付)
 - ア. TV チューナー・ラジオ機能を有すること (フルセグ機能付)。
 - イ. 7 インチ以上カラー画面を有すること。
 - ウ. バックアイカメラと連動させること (車両後部リア付近にカメラ設置)。
- ② 電子サイレンアンプ (以下「アンプ」という。)
 - (TCD 製 N160 - CP01:TCD オリジナルサイレンアンプ「e dack(イーデッキ)」音声合成・コンフォートモード付と同等品)
 - ア. アンプは、スピーカーと結線し、電子サイレン音 (ピーポー→ウーウー) の切替えが容易に出来ること。更に、電子サイレン (ウー音) 切替えスイッチ及び音声合成スイッチ、フレキシブルマイクロホンスイッチを、運転者が容易に操作出来る箇所またはステアリングに増設すること。
 - イ. アンプは音声合成付とし、切替スイッチで方向指示器操作時及びシフトレバーに連動するものとする。
- ③ 電流計・電圧計 (メーカーオプションの場合不要)
- ④ メインスイッチ類 (路肩灯・フレキシブル型マイクロホン・ルーフサイド作業灯)

(5) 運転席と助手席間

- ① 消防救急デジタル無線機、AVM を設置すること。(AVM ブラケット取付含む)
- ② A3 サイズ地図収納箱を1ヶ所設置すること。
- ③ 運転席及び助手席にフロアマットを設置すること。

(6) 運転席と助手席後部

A3 サイズの書籍収納箱を2ヶ所設置すること。

(7) その他

納車後において救急業務の高度化に伴い、新たな業務機器が追加されることがあることを踏まえ、スペースには十分な余裕を持ったレイアウトとすること。

3. 灯火類

灯火類の配置スタイルは、次に掲げるものであること。

(1) 赤色灯

- ① 車両前部の屋根及び車両後部の左右の屋根部分には、活動状況に応じて発光パターンが自動的に変化する散光式警光灯を取り付けること。
- ② スピーカーは、50W×2個で前向きとすること。なお、後退時用音声合成装置用スピーカーは、別に車体後方に後ろ向きに設置すること。
- ④ 車両前部バンパー上に赤色点滅灯フラッシュライト(LED式)を2個設置すること。
- ⑤ 車両上部及びバンパー上等の補助赤色警光灯(LED式)の点灯スイッチは連動とし、運転席付近に設け、点灯時の確認ランプ(赤色)を点灯スイッチ付近に設置すること。
- ⑥ 左右ルーフサイド前後にLED作業灯を設置すること。

(2) その他

- ① 左右側面フロント上方ルーフサイド部に、ウィンカー連動で点滅するフラッシュランプを設置すること(ドアミラー内蔵式でも可)。
- ② フォグランプを設置すること。
- ③ LED路肩灯(左右後輪付近)を設置すること。
- ④ 前照灯は、LEDヘッドランプと同等以上とすること。

4. 患者室内及び業務機器収納庫

(1) 積載又は設置する業務機器

患者室内及び業務機器収納庫に積載又は設置する業務機器は、次の詳細仕様書のとおりとすること。また、設置方法等については、概ね次による。

業務機器名	設置方法等
患者監視装置	<ul style="list-style-type: none"> ① 業務機器収納庫に確実に設置・固定すること。 ② 設置場所は傷病者の頭部周辺に取り付けること。 また、モニター画面は観察しやすい位置とすること。
人工呼吸器	<ul style="list-style-type: none"> ① 業務機器収納庫に確実に固定すること。 ② 設置場所は傷病者の頭部周辺に取り付けること。

酸素ボンベ固定装置	<ul style="list-style-type: none"> ① 酸素ボンベは10Lが酸素ボンベ固定装置内に収納できること。 ② 酸素ボンベ固定装置内には、鋼製10L酸素ボンベ2本が個別に着脱できる構造であること。 ③ 圧力計付き減圧弁を2個積載すること。
酸素配管	<ul style="list-style-type: none"> ① 内板等の内側に敷設し車内に露出しない構造であること。 ② 耐圧力は0.8MPa以上であること。 ③ 接続口を設置すること。 ④ 設置位置は電装品等の影響を受けない距離を取ること。
加湿流量計付酸素吸入装置	患者室内右側面に2個（2口）取り付けること。
携行用吸引器固定装置	ブラケット（AC電源コード付）は患者室内の業務機器収納庫に取り付けること。
除細動器収納架台	モニター付き自動体外式除細動器が積載できるよう患者室にスペースを設け、隊員が出し入れできるようにし、確実に固定できるようにすること。
メインストレッチャー架台	<ul style="list-style-type: none"> ① 患者室の右側付近に設置すること。 ② 確実に固定できる装置を設置すること。 ③ 水平・左右方向に移動可能とし、移動は手動式とすること。 ④ 振動及び水平方向の加速度を減衰させる構造を有すること。 ⑤ 最大許容荷重は使用するメインストレッチャーと同等以上とすること。

<p>メインストレッチャー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 主要寸法は、概ね全長約 2 m、全幅約 0. 6 m、高さ（最高）約 0. 9 m、（最低）約 0. 6 m、質量 4 5 Kg 以下、最大許容荷重 1 7 0 0 N 以上とすること。 ② オールレベルローリン型とすること。 ③ ベッドの高さ調整は 3 段階以上とし、どの高さにおいてもキャスターの方向変換機能が有効に作動できること。 ④ 頭部側メインフレームは可倒式とすること。 バックレストは、3 段階以上の角度調節ができるものとし、最大角度は 7 0 度以上とすること。 ⑤ ベッド部の両側には、可倒式のサイドアーム（落下防止柵）を設けること。 ⑥ 付属品として、マット 1 個、枕 1 個、身体固定ベルト 3 本、点滴スタンド 1 本を積載しておくこと。
<p>サブストレッチャー 固定装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 収納、取出しが容易な位置に設置すること。 ② サブストレッチャーが確実に固定できる構造とすること。
<p>スクープストレッチャー 収納庫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 分解することなく収納できること。 ② 収納、取出しが容易な位置に設置すること。 ③ スクープストレッチャーが確実に固定できる構造とすること。
<p>バックボード収納庫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 分解することなく収納できること。 ② 収納、取出しが容易な位置に設置すること。 ③ バックボードが確実に固定できる構造とすること。
<p>救急系無線機関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 当本部既存のデジタル無線機・AVM システムを設置すること。なお、患者室に無線機用スピーカーを艤装し、ON・OFF スイッチ付きで、容易に切替えが可能であること。 ② 車両ルーフ上に無線用デジタルアンテナ 2 本を設るすること。 ③ 増設ヒューズボックスから中継端子までの配線を敷設すること。 ④ 無線機とアンテナ及びスピーカー間の配線を敷設すること。 ⑤ 無線送受信器（取付金具付）は助手席と患者室に各 1 ヶ所設置すること。なお、取り付け位置は別に協議する。

	<p>⑥ 設置に関しては、期日、取り付け方法について当本部通信指令課及び通信機器保守点検業者と連携を図り密接な打ち合せをし、艤装する。車両納入日から7日以内に運用出来るものとする。</p> <p>⑦ 移設に係る免許申請等事務手続き費用も含むものとする。</p> <p>⑧ 無線機本体2台の移設費用を含むこと。</p>
<p>ドライブレコーダー</p>	<p>① ドライブレコーダー「ユピテル SUPER NIGHT SN-ST5500d」本体をフロントガラスの視野障害とならない箇所に取り付けること（メーカー推奨 SD カード（32GB）5枚含む。）。</p> <p>② 電源は本体の付け替えが容易にできるようにシガーソケットからとする。</p>

(2) 患者室内及び業務機器収納庫の業務機器配置スタイルは、次に掲げるものであること。

① 患者室前面付近

- ア. 大型資機材収納庫又はオーバーヘッドコンソールを設けること。
- イ. 大型資機材収納庫を設ける場合は、前面の下部付近には縦置きポケット型地図入れ（A3サイズ）とディスプレイグローブ箱等が2箱固定できる架台を設置すること。
- ウ. 大型資機材収納庫を設ける場合は、大型資機材収納庫内部には、棚板2段を取り付け、高さ調節又は取り外し可能な構造を有し、扉裏側に網棚を取り付けること。
- エ. オーバーヘッドコンソールを設ける場合は、扉裏側に網棚を取り付けること。
- オ. 標準装備の手洗い装置を収納庫に改造し、収納庫上部にはウェルパス収納庫1L用を設置すること。ただし、サイドドアからの出入りが容易にできる設計であること。
- カ. 助手席後部に間仕切り板を取り付け、同板にAVM機器等が設置できること。
- キ. 運転席と患者室は隔離壁（縦型収納庫兼用）で密閉できる構造とし、扉解放時はウォークスルー構造で、安全に往来できるものであること。
- ク. サブストレッチャー収納庫を設置すること。なお、標準装備としてコンビネーションストレッチャーチェアを装備すること。
- ケ. 時計を設置すること。
- コ. A4サイズのホワイトボードを2ヶ所に設置すること。取り付け位置については、別に協議する。
- サ. ゴミ箱を設置すること。

② 患者室上部天井

- ア. 手すりパイプ（アシストグリップ）をフロント・リア部に設置する。

- イ. リア手すりパイプに輸液ビンホルダー（2本分）を設置すること。
- ウ. 網棚をフロント・リア部に設置すること。
- エ. 室内灯はLED灯とし調光機能を設けること。

③ 患者室右側面

- ア. アクリル扉付の収納庫を2ヶ所設置すること。
- イ. 手すりパイプ（アシストグリップ）を2ヶ所設置すること。
- ウ. バネ付フックを5個以上設置すること。
取り付け位置は別に協議する。
- エ. ウォール型大型アネロイド血圧計（成人・小児用カフ付）を設置すること。
- オ. 電動吸引器「パワーミニックⅡ」が固定できる電源コード付架台を設置し、吸引器の充電が出来る機能を有すること。
- カ. 人工呼吸器「パラパックプラス300」が固定できる構造とすること。
- キ. モニター装置「日本光電製ライフスコープ VS BSM-3562」が固定でき、下部に人工呼吸器が設置できる架台を設置すること。
- ク. 自動体外式除細動器「日本光電製 TEC-2600 シリーズ」が固定できる架台を設置すること。
- ケ. 輸液ビンホルダー（2本分）を設置すること。
- コ. 酸素マスク収納トレイ（蓋なし）を設置すること。
- サ. 上・下部に収納棚（扉なし）を設置すること。

④ 患者室左側面

- ア. 大型網棚を設置すること。
- イ. サイドシート下部に大型収納庫を設置すること。

⑤ 患者室後面

- ア. 角度調整機能付バックドアスポットランプを設置すること。
- イ. バックドア開口部左側に大型グリップを設置すること。

⑥ その他

- ア. 車輪止めを備える。（ゴム製2個1組で1.5mロープ付）
- イ. ヘルメット3個が収納できるホルダー及びネットを設置すること。具体的な位置等は、別に協議する。
- ウ. レスキューセット（バール、万能オノ、シートベルトカッター、ガラスカッター、ボルトクリッパー（収納袋含む））を搭載すること。具体的な位置等は、別に協議する。
- エ. スタッドレスタイヤ（ホイール付）を4本用意すること。
- オ. JASAA（財団法人日本自動車交通安全用品協会）認定の救急自動車タイヤ用の非金属製スノーネット（イエティスノーネット）を用意すること。
- カ. 補修塗料及び付属工具を用意すること。

第3章 その他の事項

1. 文字等の表示に関すること

(1) 消防本部名

- ① ボディー両側面、後面に消防本部名を文字入れする。(青色・丸ゴシック同等字体 1文字寸法：100×100 mm程度)
- ② 車両上面に黒色で「滋賀湖北」の対空標示を文字入れする。寸法、字体については、別に協議する。
- ③ 具体的な位置等は、別に協議する。

(2) 救急隊名 (青色・英角ゴシック同等字体 1文字寸法：60×60 mm程度)

- ① 文字入れの部分は、ボディー両側面及び前後面とすること。
- ② 表記名及び具体的な位置等は、別に協議する。

(3) 救急隊マーク (寸法：縦 550 mm×横 450 mm程度)

- ① マークを入れる部分は、ボディー両側面とすること。
- ② 具体的なデザインや位置等は、別に協議する。

(4) 車両赤帯

- ① 車両全周にわたり赤帯 (幅 7 cm 以上) を貼付すること。
- ② 車両両側部及び後部の赤帯は、再帰性に富んだ反射材 (日本カーバイト工業(株) 封入レンズ型「PS8505」同等規格品) とすること。

2. その他

- (1) スイッチ類には名称及び「ON・OFF」等の表示をすること。
- (2) 計器類には、名称を表示すること。
- (3) 燃料給油口には、使用燃料の種類を表示すること。
- (4) 車両の新規登録に関する一切の費用については、受注者が負担すること。ただし、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及び自動車リサイクル法に係る経費は、本組合が別途負担する。
- (5) 現有車両は、本組合の指示により永久抹消又は一時抹消手続きをすること。ただし、一時抹消登録後、改めて永久未梢登録の指示を受けた場合には、受注者が責任をもって処分すること。その際、発生する費用については、受注者の負担とする。

実施基準に定める高度救命処置用資機材は次のとおりとする。

1. 気道確保用資機材一式

(1) 自動式人工呼吸器

パラパックプラス300（フルサポート7付、標準付属品込） 1式

構成品

- ① L S P減圧弁（ヨーク型プロテクタ付） 1個
- ② ベンチレーター駆動用ホース（0.3m×ミニカプラ酸素用） 1個
- ③ 回路用人工鼻フィルタ（50個入り） 2箱
- ④ ディスポーザブル呼吸回路（内圧モニタライン付き 10本入り） 1箱

(2) バッグバルブマスク 1式

構成品

- ① レールダル製シリコンレサシテーター成人用コンプリート 1箱
- ② レールダル製シリコンレサシテーター小児用コンプリート 1箱
- ③ レールダル製シリコンレサシテーター新生児用コンプリート 1箱

(3) 酸素減圧弁 FLW2型（ヨーク型） 2個

(4) ベンチ サポートアーム（コーケンメディカル製） 1個

(5) ガスサプライバルブ 1式

（レールダル製シリコンレサシテーター接続アダプター付）

(6) ファイバーライト喉頭鏡（LED喉頭鏡） 1式

構成品

- ① 喉頭鏡ハンドル（スタンダード） 1個
- ② マッキントッシュ型ブレード（小児から成人用4サイズ）計4個
- ③ 喉頭鏡セット用ケース

(7) 電動吸引器（パワーミニックⅡ） 1台

(8) 経口エアウェイ 小・大 各1個

一般医療機器 エアウェイバーマン氏と同等規格品であること。

(9) 経鼻エアウェイ 6mm・8mm 各1個

(10) マギール鉗子 大・中・小 各1個

2. 自動体外式除細動器（二相波形式）

(1) 日本光電製半自動除細動器 TEC-2603 カルジオライフS 1式

（運用配置場所において、レポート表示ができること。）

構成品

- ① リチウムイオンバッテリー（SB-220V X233） 2個
- ② バッテリーチャージャー（SB-205V） 1個
- ③ 電源コード（L945） 1個
- ④ DCパッド（P740） 10枚
- ⑤ 除細動レポート表示ソフトウェア（QP-551V） 1個
- ⑥ SDメモリーカード（QM-002D Y154F） 1個
- ⑦ CO2センサーキット（TG-900P P903） 1個
- ⑧ エアウェイアダプター50個入り（YG-101T R801） 1個

(2) 日本光電製 AED-3100 (バックアップ用) 1式

(運用配置場所において、レポート表示ができること)

構成品

① バッテリーパック (SB-310V) 1個

② DCパッド (P-740) 2枚

③ キャリングバッグ 1個

3. 血糖測定器

(1) 血糖測定器本体 1個

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社製血糖測定器ワンタッチウルトラビューとする。

(2) 血糖測定用穿刺針 1箱 (30個入り)

① 穿刺針: 30Gであること。

② 穿刺の深さ: 1.5mm (±0.1mm) であること。

③ キャップを外し、ホルダーの先端を皮膚に押し当てることで、容易に作動すること。

(日本BD社 セーフティ ランセットと同等規格品)

4. 血中酸素飽和度測定器

(1) パルスオキシメーター (マイティサットスタンダードタイプ) 1個

5. 心電計

(1) ベッドサイドモニター (日本光電製ライフスコープ VS BSM-3562) 1式
上記製品で SpO₂、ETCO₂、心電図、呼吸数、血圧が支障なく測定できること。

構成品

① フィンガープローブ (日本光電製 TL-201T) 1個

② マルチプローブ (日本光電製 TL-631T3) 1個

③ CO₂センサキット (日本光電製 TG-900P) 1個

④ 成人用カフ (標準)・小児用カフ (標準)・幼児用カフ・大腿部用カフ
(日本光電製 YP-7シリーズ) 各1個

⑤ バッテリーパック SB-671P 1個

6. その他の資機材

(1) メインストレッチャー 1式

(ファーノ製 スカッドメイト 6インチキャスター)

構成品

① サイドアームプレート モデル160

② サイドアームリリースリンクージシステム

③ ガートル架キット

④ ボルスターマットレス モデル460

⑤ スカッドメイト用標準ベルト 3本

⑥ ストレッチャー用枕 (かまぼこ型)

- (2) ファーノ スクープストレッチャー 1式
(モデル65EXLピン付 ベルト3本付)
- (3) ファーノ バックボード 1式
(モデル2010 ベルト5本及びイモビライザー付)
- (4) レインカバーオレンジ 1個
- (5) ターポリン担架 1枚
- (6) オキシゲンキャリーキット レッド (モデル5120) 1個
- (7) LED誘導灯 (見えるんですロング) 2本
- (8) デジタルカメラ (富士フイルム FinePix XP140 (16Gメモリ2個付)) 1式
- (9) 応急処置資器材用キャリーバッグ (モデル5100) 1個
- (10) 気道確保資器材用キャリーバッグ (モデル5103) 1個
- (11) ボイスレコーダー (オリンパス V-873 8Gメモリ) 1個
- (12) ウォール型大型アネロイド血圧計 (成人・小児用カフ付) 1個
- (13) ハンド型アネロイド血圧計 (成人・小児用カフ付) 1個
- (14) 体温計 (広範囲測温度タイプ) 1個
- (15) 膿盆 (700ml 目盛付) 2個
- (16) 万能はさみ 2個
- (17) 聴診器 (リットマン クラシックⅢ) 2個
- (18) 検眼ライト (瞳孔ゲージ付) 1個
- (19) 頸部固定用副子 (アンプ製パーフェクトエース) 3個
- (20) 頸部固定用副子 (アンプ製ミニパーフェクトエース) 3個
- (21) 三角巾 (寸法 105cm×105cm×150cm) 20枚
- (22) トリアージタグ (4枚複写式) 100枚
- (23) アルコールガーゼ (サラヤ製アルガーゼ 100枚入り) 10個
- (24) ペリカンライト (PELICAN 3415MCC 非発火防爆直角LEDライト) 2個

7. その他

資機材はすべて新品であり、納入にあたり取扱説明を実施し、その費用は業者負担とする。